

教育を起点とした好循環のまちづくり 鹿妻たけひろ通信

2025年 2月発行 No.3



衆議院議員選挙や栃木県知事選挙など、令和6年の後半は大きな選挙がありました。また、他地域の知事選挙においては、ネットの活用や選挙制度のあり方、情報の取捨選択など、いろいろと考えさせられることも多くありました。

自分の信じた情報に安易に飛びついてしまわないよう、しっかりと考えることが大事ではないかと思います。

市議会の動きとしては、11月に市内各地域において市政報告会を行いました。それぞれの地域において、何に困っているのか、どういうことに関心があるのかを知ることができました。しかし、参加者の年齢などは、偏りがあったと思います。参加者の偏りは、結果として意見の偏りや、問題認識の誤りにつながりかねません。特に、若い世代の方が参加しやすいような工夫（場所、曜日、時間、周知方法等々）が必要ではないかと感じました。



また、市内の県立高校4校において意見交換会があり、私は南高校に行きました。成年年齢の引き下げを契機に始まったそうですが、こうした活動を通じて、若い人たちに政治や議会に関心を持っていただけるようにすることは重要だと思います。

発行：鹿妻たけひろ後援会 発行責任者：鹿妻たけひろ
〒322-0076 栃木県鹿沼市上日向 307 電話 050-3188-1101

HP：<https://kazumatakehiro.com>

お友達登録
お願いします!



公式 LINE



公式 HP

議会での一般質問の概要

令和6年9月議会

小中学校でのタブレット機器の活用について

児童生徒に配布されているタブレットについて、学校での使用状況や家庭への持ち帰り状況、さらなる活用への課題などを質問しました。

鹿沼市自治基本条例と、市民との対話について

市民の意見の内容や公平性の判断、市民との対話についての考え方などに関して質問しました。市民との対話はとても重要ですが、参加者に偏りがあれば、そこで聞いた意見も偏りのあるものになり、「市にとって何が問題なのか」を見誤ることになりかねません。(オモテ面でも同じことを言っていますが、それだけ重要だと思っています)

令和6年12月議会

若者支援のための政策について

市で行っている若者支援の内容や制度の利用状況などについて質問しました。学習意欲のある人や学力の高い人を支援するとか、結婚した人を支援する、というのは大事なことです。一方で、支援のスタートラインに立てるような支援、つまり基礎学力の向上や学習意欲を持てるような環境づくり、結婚を考えられる土台となる、安定した仕事や生活につながる支援などに、より力を入れるべきではないかと思います。

小中学校の不登校について

不登校の人数、割合や要因、不登校による影響の認識などについて質問しました。不登校は、本人だけでなく、家族の生活や家計にも影響し、長期的に見れば雇用や税金など社会全体にも影響を及ぼします。それを考えると、不登校は教育分野の課題というよりも、社会にとって解決すべき課題ととらえて対応すべきではないかと思います。



Youtube

鹿沼市議会チャンネル

一般質問等の動画はこちらからご覧ください